

タイトル	Water problem in Tanzania (タンザニアの水問題)		
名前	大橋 悠紀		
学校名	京都府立峰山高等学校		
担当教科	英語		
実践教科	英語 I	時間数	各2時間
対象学年	1年生	対象人数	1組20人、 3組26人

カリキュラム案

(1) 実践の目的

まず国際理解教育とは普段の授業から切り離された特別なものではなく、普段の授業の内容とあらゆる項目でつながっており、普段の授業から生徒に考えてもらう身近なものだという認識で授業を行います。今回の実践授業も教科書の内容にリンクさせ、Lesson 6 Water of Life (Big Dipper English Course I) を読んで、世界の水問題に関する内容を理解するとともに、実際にタンザニアで起こっている水問題について理解することを目的とします。

最終的には、教科書にのっている世界の水問題とタンザニアの水問題を踏まえたうえで、自分がこれからできることを英語で表現するところまでもっていきます。

(2) 授業の構成案

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1 時間目 タンザニアはどんな国なのかを知る。(文化、生活、教育など)	質問形式でタンザニアを理解していく。 タンザニアで購入した物を使って実物にふれ、文化の違いを学ぶ。	世界地図 パワーポイント タンザニアの写真 タンザニアで購入したもの(カンガ、ウドongo、カシューナッツなど)
2 時間目 Lesson 6 Water of Life の内容やキーワードを確認し、タンザニアの水問題について考える。	教科書、単語プリントを使い音読中心で Lesson6 を復習する。 Lesson6 の内容と関連して、パワーポイントを使いながらタンザニアの水問題について考える。	教科書 単語プリント 世界地図 パワーポイント タンザニアの写真 ワークシート

実践授業の詳細

< 1 時間目 >

どのような国なのか（文化、宗教、生活、教育）を紹介していく。タンザニアの写真入りのパワーポイントを使い、質問形式で進めていく。

質問の内容（一例）

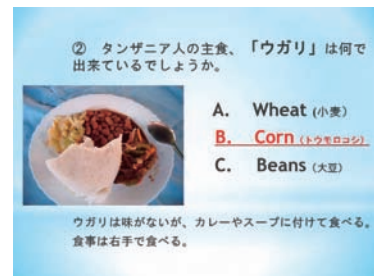
- 生活 … タンザニアの主な交通手段、日本の中古車の活躍（資料1, 2）
 食事 … タンザニアの主食「ウガリ」は何からできているか。（資料3）
 教育 … タンザニアの英語教育は何年生から始まるか。（資料5, 6）



資料1



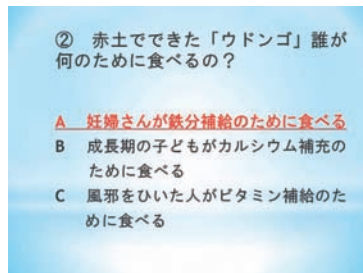
資料2



資料3



資料4



資料5



資料6

3 択問題で、まずは簡単にタンザニアについて学ぶ。タンザニアは、ほぼ全員が全く知らない国だったので、現地で撮った写真や実物を見ながら質問の答えを想像する。予想外の答えに驚きの声上がることも多く、日本とタンザニアの違いに「なぜそうなの？」と質問が多くでた。写真やお土産を見ながら生徒からでた素朴な疑問に答え、タンザニアに興味を持つ良いきっかけとなった。

生徒の感想

- ウドongo（妊婦さんが鉄分補給のために食べる土の塊）の味は、グラウンドで転んだ時の味がして健康的な味はしなかった。
- 日本から遠く離れた所にも勉強や生活を頑張っている人が人たちがいて、勉強する環境が悪くても一生懸命に勉強を頑張る子どもたちがいることが印象に残った。
- 学校があっても日本とは違って学校にいけない人がいるし、学校に行っているひとの中でも給食を買える人と買えない人がいてすごく貧富の差があると思いました。
- 日本は無駄が多いから少しでも無駄がないように生活したいです。

< 2時間目 >

Lesson6 Water of Life の内容を、Summary (要約文) や Word list (単語プリント) を使い復習する。世界の水問題、食糧問題を扱ったこの単元と関連して、タンザニアの水問題について考える。

・ Lesson 6 Water of Life の復習 (音読活動、ペアワーク)

1. Word List で単語の復習
2. Summary (要約文) で内容を復習し、キーセンテンスを確認する



(資料7)

ペアワークをする生徒たちの様子。Lesson 6 の単語を日本語から英語直し、ところどころ日本語になった英語の要約文を全て英語に直しながら音読する。

・ タンザニアの水問題について考える

パワーポイントを使い、質問形式で Lesson6 のキーセンテンスを確認する

- ① **Our urgent problem** (私たちの緊急の問題) とは何か。

The water shortage will be urgent problem for people especially who live in Africa, the Middle East, and South Asia.

(水不足は特にアフリカ、中東地域、南アジアにすむ人々にとって緊急の問題になるでしょう)

- ② どうして水不足が緊急の問題なのかを考える。もし世界のある国で水不足が起これば、日本で食料不足が起こる可能性がある事を確認。

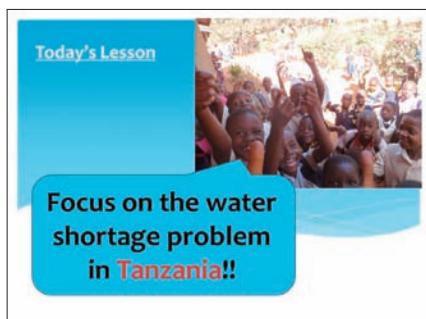
Question : Why is the water shortage an urgent problem for us?

(どうして水不足は私たちにとって緊急の問題なの?)

Answer : If a water shortage occurs in any major exporting country, **a food shortage** may occur in Japan.

(もし水不足が主な輸出国で起こったら、日本で食料不足が起こるかもしれない。)

- ③ 今日の授業の目的は「タンザニアの水不足について」であることを確認する



(資料8)

Focus on the water shortage problem in Tanzania.
(タンザニアの水問題について焦点を当てましょう)

④タンザニアの水事情について写真を使いながら学ぶ。

Question : How often do they get clean drinking water?

Answer : Most of people usually can't get clean drinking water.



(資料9)
また、私がタンザニアに行ったときに見聞きした、水に関する困りごとについて紹介する。

Even if they turn on the tap, they can't get water.
(蛇口をひねったとしても水を得られない)

They have to go to the river or the well to get the water.
(水を得るために川か井戸まで行かなければならない)

Water that we get from the well is salty and dirty so it isn't good for drinking water.
(井戸から汲んだ水はしょっぱくて汚いので飲料水には適さない)

⑤タンザニアの人はどうのように水を得ているのかを考える。

Question : How do they get water? (彼らはどうのように水を得ていますか)

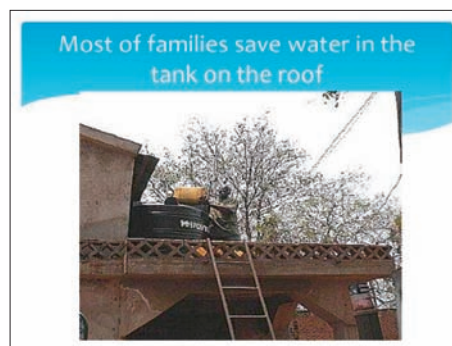
答えはほぼ生徒の予想が当たっていた。テレビなどで、発展途上国の水問題については少しだけでも認識している生徒が多くいた。

タンザニアでは、ほとんどの人が川や井戸に水を汲みに行き、屋根の上の貯水タンクに雨水を溜めて使っている様子を伝えた。

⑥自分たちに何が出来るか考える。



(資料10)



(資料11)

次の質問に対し、習った文法を使って自分の意見を述べる。
生徒はまず、ノートに質問の答えを書く。文法の間違いや質問に答えながら英作をする。
その後、数名の生徒に意見を発表してもらう。

Question : What are you trying to do in order to save water?

(水を大切にするためにあなたはどんなことをしようとしていますか?)

生徒の意見（一部）

In order to save water, I am trying not to keep the tap running.

（水を節約するために、水を出しっぱなしにしないようにしています）

I try to stop water when I don't need to use it.

（必要のないときは水を止めるようにしています）

I am trying to use water from the bath tab for washing.

（洗濯の際、風呂の水を使うようにしています）

生徒の意見を発表しているとき、すでに家で取り組んでいることや日頃心掛けていること発表していた。なかなか文章に出来ない生徒もいたが、自分なりに水問題に向き合おうとしている様子がうかがえた。

授業全体を通しての生徒の感想

- ・タンザニアと日本では貧富の差が激しいことがわかった。多くの日本人が支援としてタンザニアに行っておられて素晴らしいと思った。直接的に支援することは出来ないが、間接的にでもこのような問題に関わっていきたい。
- ・タンザニアの人は授業に集中しているし、真剣だったから私たちも見習わなければならないと思った。
- ・片方の国は水不足なのに、片方の国は水の無駄遣いが多いという現状がどうして起こっていったのかと疑問に思った。
- ・水不足・食料不足・格差などいろんな問題があるが、タンザニアの人たちは幸せそうだった。そして精神的に強く、努力家で充実した日々を過ごしている人が多いだろうと思った。
- ・改めて日本は裕福な国だと思った。日本では当たり前に出る水がなくても、それを当たり前だと思てはいけないと思った。やっぱり水の無駄遣いを無くすことが大切だと思う。
- ・海外で水不足が起きているのは日本にも責任があると思う。今回は先生が現地の物を持ってきてくれたことや、他の世界を知れたことがよかった。
- ・私ももう少し勉強に真剣になろうと思った。この環境にいれることを大切にしようと思う。

実践授業を通しての所感・反省と今後の展望

国際理解教育について、教科ごとの特性もありますが特に英語の場合、普通の授業とはなれたものではなく、本来は普通の授業の内容とリンクできる身近なものだと考えています。そのため今回の授業で教科書の内容と関連して、「水不足」というキーワードでタンザニアでの研修と結びつけたことは、伝えたいことや学びたいことが焦点化されていて生徒にとって分かりやすかったと思います。普通の授業から少しずつでも継続的にタンザニアのことや世界のことを関連づけていきたいと思っています。

反省点としては、今回の授業ではタンザニアの現状を知ることにはできるが問題の本質まで考えることができなかった点です。「タンザニアは水に困っている」という紹介した知識でわかることから、自分の頭で考えて「ではどうしたらいいのか」「問題の本質は何か」というところまで学びを深めることが本当に大切なことだと思っています。これからは、ただ他国の紹介に終わらず少しずつでも自分の頭で考えるという作業をいれていきたいと思っています。

